



山口紗世子

やまぐちさよこ ●北海道出身。2006年人文学部総合政策科学科修了後、北海道大学大学院法律実務専攻修了。2010年司法試験合格。2013年山口法律事務所を開設。本学非常勤講師も務める。

信念の成果

「実は、山大は第一希望の大学ではなかったのですが、入学時は挫折感でいっぱいでした」と、にこやかに話すのは、山形市内に法律事務所を構える弁護士の山口紗世子さん。その挫折感から一転、山口さんを奮い立たせたのは、ある教授の「君たちにはいろんな可能性がある」という一言だった。目標を失いかけていた山口さんは、医師、弁護士、宇宙飛行士……子どもの頃になりたいと思っていた職業を思い起こし、自分の現在地からかなえうる夢として弁護士をめざす決意をした。そして、弁護士になれた暁には、ふるさと札幌ではなくここ山形で働こうという意志も固めていた。人の優しさや自然の豊かさなどの魅力はもとより、学歴等の偏った価値観に囚われていた自分に、他人と比べない「自分の人生」を歩んでゆきかけをくれた大切な土地だからだ。大好きな山形で困っている人の力になるため、ロースクールと司法修習生時代は札幌に戻ったものの司法試験に合格し、弁護士になって山形に帰ってきた。

2013年には「山口法律事務所」を開設、家族や友人、先輩諸氏の支えもあってやりがいを感じながら仕事に追われる日々という。若手弁護士ということで、今は敢えて得意分野を掲げることなく、離婚問題から企業法務までいろいろな案件を担当し、経験を積む時期だと考えている。

現在は、弁護士業務全般に加え、法律に関する市民講座や企業セミナーなどの講師としても活躍。さらに、本学の非常勤講師として後輩たちに民事訴訟法を教えている。「山大入学は私の人生最大の幸運」と言い切るほど母校への思いの強い山口さんは、後輩たちの力になりたい、応援したいという気持ちも人一倍強い。だから、後輩たちに教える機会を与えられたことはとても光栄で、学生時代とは違う目線でキャンパスライフを楽しんでいる。「今の私があるのは山形大学のおかげ。後輩のみなさんもこの大学に誇りを持ってがんばってほしいですね」と後輩たちに奮起を促した。



山大聖火リレー



山大入学が人生最大の幸運、 大好きな山形で弁護士として活躍。

山口紗世子 弁護士



職務を行う場合には必ず身に付けなければならない弁護士記章、俗に言う弁護士バッジと六法全書。ひまわりをかたどった弁護士バッジの中央に配されている罫は「公平」の象徴。



本学基盤教育の教養セミナー「キャリア形成とワークライフバランス(ウーマン・オブ・ヤマガタ)」でゲスト講師として自らのキャリア形成のプロセスについて講義を行う山口さん。